

岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校で防災講座を行いました

令和7年10月24日（金）、岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校で1年生40名に防災講座を行いました。学校は高台にあり、裏山は土砂災害特別警戒区域に指定されています。講座は、昨年に続いて2回目となります。

講座では、伊勢湾台風や9.12豪雨災害など過去の水害について学習しました。この地域では、伊勢湾台風の翌年にも大雨で甚大な被害を受けています。また、昨年の台風10号や岐阜市に避難指示や土砂災害警戒情報が発令された今年の7月17日の大雨など最近発生した水害についても確認しました。

VRでの浸水疑似体験や伊勢湾台風A I 語り部との対話・防災クイズ体験なども行いました。生徒たちはA I 語り部の「伊勢 湾太郎」さんに「どのくらいの方が怪我をしたんですか?」、「普段の雨との違いは何ですか?」などの質問をしました。また、防災クイズでは、避難用品やハザードマップについて理解を深めました。

最後に代表で挨拶をした生徒からは、「まだ水害を経験したことが無いので、VRやA I との対話、講座を聞いて水害の恐ろしさを学びました。これからは気をつけて生活していきたいと思います。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

